

まがな



秋田市手をつなぐ育成会
会報 第25号

秋田市八橋南1丁目8番2号
秋田市老人福祉センター内
事務局 TEL 833-0148 (田中)

秋田市手をつなぐ育成会の 今後の活動について



会長 田中 勉

秋田市手をつなぐ育成会に籍を置いて十数年の未熟者の私が、会長を引き継ぐことになり、大変困惑しております。高橋前会長のようにどんな場面でも的確な判断をし、安定した会運営ができるか非常に不安であります。決してや今も現役で仕事をしております、今年4月からは、会社で知連いの就労継続支援B型事業所と相談支援事業所を開設し、忙しさの為に、会員の皆様にご迷惑をかける結果にならないかという不安もあります。しかし、幸い高橋前会長が、副会長で残って頂けるということで、何とか頑張つてこの会長という職責を遂行していきたいと考えております。

さて、今年度の秋田市手をつなぐ育成会の活動につきましては、総会資料の今年度の事業計画に書いてありますが、その計画の内容から次の三つの活動について重点的に進めていきたいと

考えております。

① 体験的知識を会員で共有する活動

私たち育成会の会員は、一人ひとり知的障がいのある体験的知識を持っており、そのそれぞれの体験を世代間や各施設間で分かち合うことで会としても個人としても知識が蓄積され、他の組織では絶対に真似のできない体験的知識を豊富に保有する団体になりうると考えます。つまり、当会は、世の中で知的障がいのことを一番よく知っている団体になりうる組織だと認識しており、そこに当会の存在意義があると考えます。今後も会員の方々と体験を分かち合う活動を継続してゆきたいと考えております。そして、今後どのようにしてその体験的知識を情報として会員で共有していくかの方法を確立していくことが課題であり、当会にとつて非常に重要な活動だと考えております。

② 専門的知識の習得

次に、今後、当会が目指すべき方向として、体験的知識に加えて、福祉の専門職の方々の持っている法的、学術的知識を持つ団体になっていくべきという考えを持っており、現時点には、行政が責任をもって社会福

祉サービスを利用者に給付する制度でしたが、今は、全て契約に基づいて福祉サービスが提供されることになっており、私たちが、役所に申し込みをしたり、事業者と利用契約を結んだりしなければなりません。私たちが法律制度を理解しないことには、物事が進まないという可能性もあります。ですから、当会は、法律制度等についての正しい知識を保有し、会員の方々が、困ったときには手助けできる機関としての役割を持つていかなければならないと考えます。

③ 市民に知的障がいを理解していただく活動

ここまでは、秋田市手をつなぐ育成会として内部的な問題でしたが、三番目は、今まであまり意識していなかった会の外（会を取り巻く環境）の問題になるかと思いますが、知的障がい児・者とのように接しただけでは、市民にどのようなのかかわらない市民にどのようなにして知的障がいというものを理解していただくかという活動です。どんなに会としての実力をつけたとしても、会を取り巻く市民の理解と協力を得なければ、本当の共生社会の実現は難しいと考えます。昨年より「知的障がい者サポーター養成講座」の事に触れておりますが、今年

ごあいさつ

角館高校甲子園出場おめでとう。私の神宮寺の実家が相馬投手の家のすぐ近くです。五十五年前に中学校の野球部で頑張った友の孫なので、うれしくなり喝采をしました。



四月から経理事務を担当することになりました。昨年までは姉崎さんがまとめ、収入を工藤さん、支出を藤原さんが担当し処理してくれていました。今年やってみて三人の御苦労に感謝している毎日です。市育成会の活動は会員からの会費収入で賄っております。特に会費を間違えずに処理することは大変な作業なんです。郵便局や銀行そして現金で直接入ってくる会費を台帳に記入し、名簿に個人別に消込していく作業は神経を使いますし、間違いが許されない作業であることを知りました。これまで工夫し築いてこられた作業手順をまず自分のモノにし、決算整理ができるように頑張っています。

副会長・経理部

高橋 精一

副会長としての二年目はそこを意識し、改善して参りたいと思います。



◆育成会の行く末
先日、先進地視察で初めてとなる、高齢者と障がい者が共に暮らす複合型施設と、東京都の都外施設の二カ所へと行って来ました。その反響の大きさは、企画した私が驚くほどでした。会員の多くが「我が子の為、親亡き後に！」を合言葉に今日まで頑張ってきた。そこがポイントだったのではないのでしょうか？
高齢化の進む育成会の今後は、子どもたちが安心して地域で暮らすための環境整備と、会員である親世代をどのように支えていくのか？という問題点が見えて来ました。

副会長・事務局長

近藤 美奈子

私は当事者とその家族の幸せのために余生を捧げる所存です。宜しくお願い致します。

④ 高齢化や病気にきちんと対応する障がい者医療福祉体制
⑤ 虐待や差別がない社会
⑥ 目指して会長の下で精進して参ります。

副会長・相談事業部

小林 顕

◆副会長就任の抱負
世の中を見渡しますと、未だ障がい者や我々親たちが安心して暮らせる世の中には、なっていないようです。育成会の使命は子供から老年まで全ての人生の時期にある全ての当事者とその家族が、障がいがあるという事で困ることが決してない、安心して「へんじえどして」暮らせる世の中を築いていくことです。
① 当事者とその家族の双方が幸せな人生を全うできる障がい福祉環境の整備
② たとえ困難に遭っても救済される堅牢な社会のセーフティネットの構築
③ 知的障がい者が良い環境で洗練として仕事ができる社会
④ 高齢化や病気にきちんと対応する障がい者医療福祉体制
⑤ 虐待や差別がない社会
⑥ 目指して会長の下で精進して参ります。

副会長・広報部

豊島 弘子



からは、具体的な活動を進めたいと考えております。市民の方々が知的障がいというものを正しく理解をしていただくことで知的障がいに対する偏見をなくし、更には、協力者となつていただくことが可能であり、本来の共生社会の実現につながると思います。

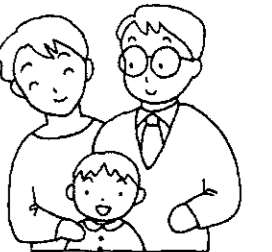
私なりに今後の会の活動の方向性を考えてみましたが、この活動は、全ての会員の皆様のご協力がなければ、事を進めることは不可能です。ご承知のようにならぬ活動原資は、殆どが会員の皆様の会費収入で賄われておりますが、年間百万円程度の予算しかありません。ですから、事務所もありませんし、事務職員がいるわけでもありません。全てが会員の皆様の善意のボランティア活動で成り立っているということをご理解いただきしたいと思います。秋田市手をつなぐ育成会の目的は、知的障がい児・者の福祉の増進であります。その目的を達成するために会員の皆様の出来る範囲でのご協力をお願いする次第であります。何卒、宜しくお願い申し上げます。



秋田市手をつなぐ育成会 組織図

会長 田中 強 小 又 の 里

副会長	経 理 部	高橋 精一	一羊 会
副会長	事務局	近藤 美奈子	諸施設・在宅
副会長	相談事業部	小林 顕	諸施設・在宅
副会長	広報部	豊島 弘子	一羊 会
支部長	河辺支部	金 慶一	河辺支部
支部長	雄和支部	斎藤 利夫	雄和支部



相談役	佐藤 要治	新 生 寮
相談役	谷内 和夫	ウェルビューいずみ

監 事	柿崎 文夫	柳田 新生寮
監 事	秋山 牧	柳田 新生寮

関係機関	秋田市障がい福祉課
	秋田県手をつなぐ育成会
	秋田市社会福祉協議会

相談事業部		
部 長	小林 顕	諸施設・在宅
副部長	石川 俊弘	天王つくし園
	石垣 亘子	竹 生 寮
	佐藤 裕美	天王みどり学園
	伊藤 真由美	栗田養護学校
	武藤 雅英	愛 心 園
	藤井 敦子	小 又 の 里
	伊東 春香	秋大付属支援学校
	野口 尚子	秋大付属支援学校

総務部		
部 長	柏谷 敏郎	ウェルビューいずみ
副部長	能美 ミキ	柳田 新生寮
	中津川 正次郎	柳田 新生寮
	須田 憲二	柳田 新生寮
	安宅 美智子	竹 生 寮
	荒川 栄子	竹 生 寮
	黒川 伊津子	竹 生 寮
	中 川 幸子	小 又 の 里

経 理 部		
部 長	高橋 精一	一羊 会
副部長	藤原 悦子	一羊 会
	工藤 トシ子	高 清 水 園
	石川 千鶴子	明 成 園
	山城 多美子	明 成 園
	能 登 茂	明 成 園

河辺支部		
副支部長	田口 忠次	河 辺 支 部

事業部		
部 長	斎藤 好行	サンハウス
副部長	高橋 洋子	高 清 水 園
	藤田 長司	工房こすもす
	長谷山 久子	工房こすもす
	菅 沼 弘子	諸施設・在宅
	田口 忠次	河 辺 支 部
	柏原 伸一	高 清 水 園
	菅原 りり子	い な ほ 会
	船木 忍	い な ほ 会

広 報 部		
部 長	豊島 弘子	一羊 会
副部長	玉島 洋子	緑 光 苑
	中田 和子	諸施設・在宅
	長谷川 弘子	秋大付属支援学校
	佐々木 久美子	秋大付属支援学校
	鈴木 直子	ウェルビューいずみ
	高橋 良子	ウェルビューいずみ
	植村 政司	つどいの家

雄和支部		
副支部長	金 多雅雄	雄 和 支 部

第56回手をつなぐ育成会秋田県大会 (湯沢・雄勝大会) 開催要綱

大会スローガン

「地域社会と絆を深め、安心して暮らせる共生社会をめざそう」

●期 日
平成26年 8月31日 (日) 午前10時～午後3時30分

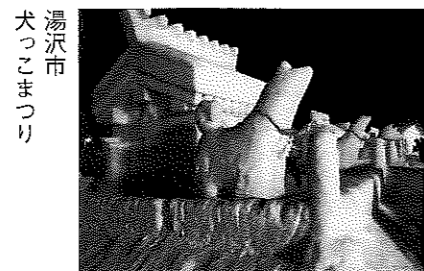
●会 場
湯沢文化会館 広域交流センター
(湯沢市字沖鶴103-1 TEL 0183-72-2121)

●日 程		9:00	10:00	11:10	12:00	12:50	13:35
保護者大会	受付	9:55	11:00	12:00	12:50	13:30	15:30
	開会式典	アトラクション 西馬音内盆踊り 湯沢舞踊劇団 他	昼食・休憩	講演	シンポジウム		
本人大会	受付	9:55	11:00	12:00	12:50	15:00	
	開会式典	アトラクション 西馬音内盆踊り 湯沢舞踊劇団 他	昼食・休憩	秋田県ともだちの会 みんなでおどろう にしもないほんおどり うたやゲームでたのしもう			

●アトラクション
「西馬音内盆踊り」 秋田県立羽後高等学校郷土芸能部
湯沢舞踊劇団 他



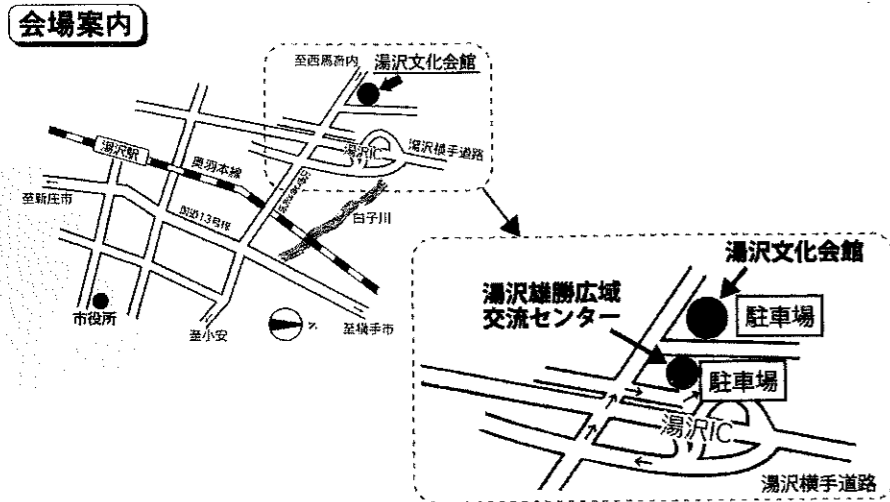
湯沢市
七夕絵どろろうまつり



湯沢市
犬っこまつり



羽後町
西馬音内盆踊り



《大会事務局》
〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5
秋田県社会福祉会館内
公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会
TEL・FAX 018 (864) 2718
E-mail akiteiku@khaki.plala.or.jp
ホームページ
http://www.ajuta-ikuseikai.jp/

●講 演
「市民後見制度について」
湯沢市福祉保健部地域包括支援センター
所長 織田 正氏

●シンポジウム
テーマ「本人が生きがいを持って生活できる環境を考える」
司 会 湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会長
天野 達氏
(障害者支援施設愛光園施設長)

話題提供者
・ボランティア
NPO法人サポートセンター・ビーイング
理事長 寺門 敏 子氏
・就労支援
NPO法人障がい者自立生活センター「ほっと大仙」
障がい福祉サービス事業所「ほっぺ」
施設長 奈良 克 久氏
・市町村育成会
にかほ市手をつなぐ育成会 会長 高橋 博氏

●本人大会 (秋田県ともだちの会)
お楽しみ会 13:00～14:30
(みんなでおどろう にしもないほんおどり)
秋田県立羽後高等学校郷土芸能部の指導
(みんなでうたおう) 音楽療法士 日沼郁子さんの指導
話し合い 14:30～15:00

知的障がい児・者 サポート育成講座

障がいの人権や施策に関する法整備が、日本でも進められています。世間の人々の障がい者福祉に寄与する考え方は変わったのでしょうか？

障がい者に接する機会があまりない、あるいは自分も家族も障がい者ではない多くの人は、障がい者基本法がある事も知らないでしょう。

これに対して高齢者福祉となると全く異なります。人は必ず高齢者になります。だから高齢者認知症は誰でも罹患する危険性があるのに対して、知的障がいは自分の周囲に知的障がいを持つ人がいなければ問題になる事もないのです。故に、認知症サポーターは現在五百万人にも達するのに対して、知的障がいのサポーターは存在すらよく知られていません。

◎共生社会を目指して
行政が障がい者関連の法律に従って共生社会の実現を目指していく中で、地域社会で暮らす障がい者が増えていくでしょう。結果、例えば行動に著しい困難を有する、常時介護を要する方、入所や入院という形ではなく、グループホーム、又は自宅で重度訪問介

護を受けながら、地域社会で健常者と共に暮らす世の中が来ると思っています。日本国民は、今後どのような姿勢で障がい者に向き合っていけばいいのでしょうか？

◎障がい者を理解し、共生する
日本だけでなく、全世界で健常な人と障がいを持つ人が、共に生きる世の中の実現が求められています。故に、社会的障壁の除去のため、障がい者に必要な配慮をすることが求められます。そして障がい者有する人も、基本的人権を持つ、かけがえのない個人として尊重される存在である、という事です。以上の事で、国民が理解する方法の一つが、知的障がい者サポーター養成講座です。

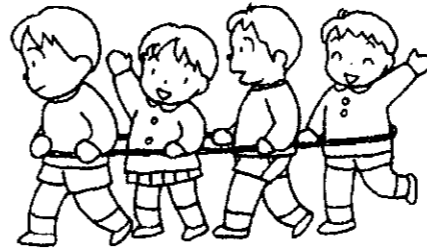
◎秋田での講座の実現を目指す
秋田市手をつなぐ育成会は、先日、当会が前端的にバックアップする、という事で、知的障がい児・者サポーター養成講座を、秋田市で開催して下さいました。秋田市では前向きに考えて下さる、という事でした。

◎障がい児・者サポーター養成講座とは
・障がいの基本的な理解
・親等の支援者の話を聞く
・障がい児・者本人と実際に接する

この三部構成が望ましいと思えます。この講座に参加した結果、障がい児・者だけでなく、「他者を思いやる心」が養成され、地域社会の福祉のセーフティーネットになっていくのです。

◎街の灯
街に灯をとます事、すなわち人と人との間に分かれ合っていて、思いやり助け合いながら、皆が住みよい街を作っていく事は、非常に大切な事です。障がいの有無で差別したり排斥したりする事なく、当たり前前に普通に助け合いながら暮らせる世の中を、これから力を合わせて創っていくにはありませぬか。

(秋田市手をつなぐ育成会副会長
医学博士 小林顕先生の論文より
抜粋させていただきます)



福祉大会のお知らせ

◎今年度の福祉大会、11月下旬、障がい児・者サポーター養成講座についての学習会を予定しています。

- ・福祉大会に合わせて、同日バザーを計画しています。ご家庭に眠っている不要な品物などありましたら、ぜひご協力下さい。
- ・女性部会では、手作り品のバザーも計画しています。こちらも協力できる方は、ぜひ申し出て下さい。お待ちしております。

問い合わせ、高橋 833-7834 豊島 090-7663-4049

本人部会は11月9日(日)リンゴ狩りを予定しています。たくさんのご参加お待ちしております。



施設見学会

—— もりの郷 ——

今年度の施設見学会は、七月十五日北秋山市にある複合ケアセンター「もりの郷」です。

総勢四十名、バスや自家用車で森吉までのドライブです。途中上小阿仁の道の駅へ立ち寄りちよつと買い物も…。



いよいよもりの郷へ到着です。複合ケアセンターというのは、高齢者のグループホーム、高齢者のデイサービス、そして知的障がい者のサポートホームから成り立っており、高齢者と障がい者を同一施設で、という

のはあまり聞いた事がなく、皆さん興味津々で見学です。

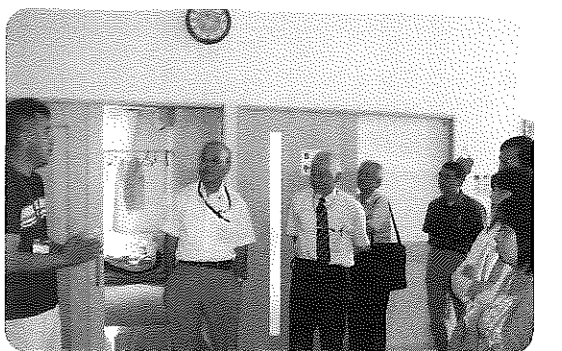
元は工場だった建物、というだけあって天井が高く圧迫感がないのがいい！と感じました。

入居している知的障がいのある方々は、朝は同じ法人である「森幸園」に作業のため通所しているという事でもう出発した後でした。入れ替わりにデイサービスの方々がちよつと到着して、ごあいさつ！

十名という少人数のため、フットワークが良く、急に外に出かけたり、お花見に行ったりと大人数では難しい事もできるとか…。



れ思い思いの物を持ち込み、楽しんでるようでした。



サポ
ートホ
ームの
お部屋
もちよ
つと見
学させ
ていた
だきま
した。
個室で
それぞれ

施設の方から、実際には高齢者と障がい者の複合施設、というのは大変な面がある、単体の施設の方が経営的には楽なのでは…という正直なお話も聞けました。

どんな社会にも、障がいのある人は一定の割合で



生まれてくる、という話を聞いたことがあります。

高齢者は…？という人と、人は当然ながら年を重ねれば高齢者になります。障がい者のいない社会、高齢者のいない社会…反対に、障がい者だけの社会、高齢者だけの社会…というものは人為的に創られた社会という事になります。

本来の意味での共生とは…どんな形がよいのだろうか？と考えさせられた施設見学会でした。



いどばた IDOBATAカフェ



～育成会女性部会より～

女性部会では、4月から月1回のペースで、IDOBATAカフェを開いています。

参加資格はどなたでも、もちろん性別、年齢は問いません。

どんな内容？ うれしい事、悲しい事、困った事、腹が立つ事、もちろん人の話を聞くだけでも、へーそんな事があるんだ～と聞いていただければOK！

参加費は今のところ500円、昼ご飯を食べたり、各施設で作っているスイーツを楽しんだりしています。現在暑いので休止中ですが、また10月からの再開を予定しています。



～療育手帳Bのお子さんを持つお母さんの話～

Bだと医療費は健常者と同じ3割負担、収入は年金とわずかな工賃のみ。負担の大きさに病院に通うのも不安だ…。せめて無料とは言わないが、1割負担にならないだろうか…

育成会で働きかけて欲しい～！
なんて話もありました。

学校部会より



◇天王みどり学園

本校は、地域と共に生きる活動として、今年から天王グリーンランドの『食彩館くらら』で、高等部生が作業製品のジャムやコーヒーや木工品を販売したり、店内外の清掃も行っています。(毎月最終木曜日に活動)

校外活動を通して自信につながったり、よい製品を作ろうとする意欲にもなっています。食彩館くららの代表者が活動に理解して下さり実現しました。ありがとうございます。保護者はこれからも、生徒の頑張りを応援していきたいと思えます。

◇栗田養護学校

本校は、県内最大の生徒数を持つ特別支援学校です。

一般就労一〇〇%を目指した環境福祉科においては、ヘルパー二級の国家免許取得に取り組んでおります。また、高等部全体で企業や関係機関との連携した職業教育が行われています。

そして、市内唯一の寄宿舎設置校でもあり、寄宿舎の機能や教育力を生かし学校生活とは別の規則正しい生活リズムの確立や同年代との余暇活動、地

域の支援ボランティアによるお茶やお花などの文化教室、夏祭りや仮装カラオケも行われ、子供たちの喜ぶ姿に先生方も一緒に喜んでくれます。ほんの一部の紹介ではありますが、豊かな経験に育てられているように思います。

◇秋田大学教育文化学部附属

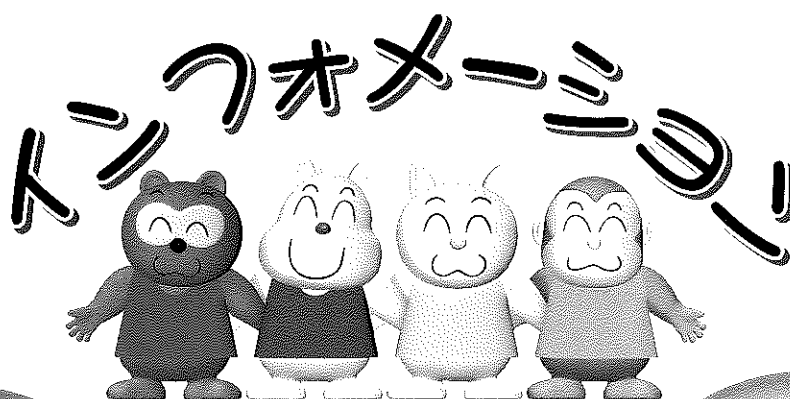
特別支援学校

今年度の本校の育成会会員は十六名です。

私たちの学校は、竿燈まつりへの参加や演技の披露を通して地域の方々と交流を深めています。先日は、附属幼稚園や、聖園天使園での竿燈交流会も行われました。演技を披露したり、ミニ竿燈を園児と一緒にあげたりと楽しい交流ができました。

現在は竿燈まつり本番に向けて、演技・お囃子共に日々練習を重ねています。





福祉大会

11月下旬 予定

本人大会

11月9日(日) 予定
りんご狩り

第56回

**手をつなく育成会
秋田県大会**

平成26年 8月31日
湯沢市
文化会館

第54回

**手をつなく育成会
東北ブロック大会**

平成26年 9月20日～21日
青森県三沢市
星野リゾート青森屋

ハンドメイドサークル

11月下旬
手作りバザーを予定して
います
一緒に手作りを楽しみませ
んか…

毎月第2, 4金曜日
連絡先: 高橋洋子 代表
018-833-7834

第63回

**全日本手をつなく育成会
全国大会**

平成26年 9月27日～28日
島根県松江市

編集後記

今年も秋田は暑い夏となつてお
ります。

こうして無事に会報二十五号を
発行でき、ご寄稿下さった皆様に
感謝の思いでいっぱいです。

さて、今号より、「きずな」の書式
が変わりました。

皆様お気づきでしたか? 段組みを三
段から四段へ変更し、各活動行事の写
真も増やしました。皆様のお手元に届
いた後、いかに目に止めて頂けるかを
模索中です。

こうした特集をして欲しいとか、福
祉サービスで知りたいこと、皆さんに
お知らせしたいことなどがありましたら
どうぞ広報部に教えて下さい。

今後、さらに紙面充実を図るべく、
市内の福祉施設等の取材なども考えて
おります。

暑い夏、健やかに乗り越えましょう

(広報部)

